

岩手・宮城内陸地震に伴う国道397号の通行止めを解除

～焼石に復興の春～

県南広域振興局土木部

昨年6月の岩手・宮城内陸地震の影響で通行止めとなっていた奥州市胆沢区若柳の国道397号が、5月11日（月）正午、約11ヶ月ぶりに全線開通しました。

国道397号は、昨年の地震により大規模な斜面の崩落が4箇所、路面の亀裂が多数発生しておりましたが、昨年の降雪期前までに応急復旧工事を集中的に実施したことにより、4月13日に石測ダムゲートから平七沢ゲート（ツブ沼付近）までの3.8キロ区間の通行止めを解除、今回、平七沢ゲート（ツブ沼付近）から秋田県境までの16.3キロ区間の通行止めを解除し、全線開通したものです。

開通後も、一部区間で災害復旧工事などによる片側交互通行が必要となり、利用者の皆様には大変ご不便をおかけしますが、今後とも被災箇所の早期復旧に取り組んで参りますので、ご協力をお願いします。

心地よい焼石の春を感じに是非お出かけください。



地震直後の被災状況（H20.6）



開通前の除雪作業状況（H21.4.14撮影）



通行止規制解除（平七沢ゲート）